



ラグビーワールドカップ公式、オールブラックス日本公式、ウェールズ代表チーム Twitter より転載

地方創生にかかわる中小企業の役割

日本のおもてなしが 世界を魅了する 〜ホスト国の おもてなしは地域が 考え実践する〜

25



Human Delight株式会社 代表取締役社長

野田 万起子 のだ まきこ

静岡県出身。東京国際大学経済学部国際学科卒業。米国オレゴン州TIUアメリカ校卒業。1993年株式会社ベンチャー・リンク入社。2010年同社取締役就任。11年同グループのMBOにより独立。インクグロウ株式会社の代表取締役社長を務めたのち、15年より現職。地方自治体の地方創生プロモーションの支援に従事する一方、経済産業省「女性起業家等支援ネットワーク構築事業」の静岡県主宰としても活躍している。

このたびの日本を震撼させた台風19号により、お亡くなりになられた方々に、そしてご遺族の方々にお悔やみを申し上げると共に、被災された全ての皆様と地域に心よりお見舞いを申し上げます。また被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

2019年10月15日

ラグビーワールドカップ・2020年オリンピック・パラリンピックでホスト国となる日本

2013年9月7日、ブエノスアイレスで行われたIOC総会で2020年のオリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定されました。東京での開催は1964年の大会以来56年ぶりの2回目となり、決定時は日本中が沸き上がりました。実はその4年前、2009年に10年後のラグビーワールドカップを日本に誘致していたことが先に決定していたのです。日本ラグビーフットボール協会は、第7回大会となる2011年から誘致活動をしていましたが、2大会連続で誘致は実現できませんでした。しかしながら、2015年の第8回大会で、日本代表が強豪国、南アフリカに劇的な勝利収めたことで大きく流れが変わってきました。惜しくも本大会ではベスト8に進出することは出来ませんでした。既に2019年のワールドカップ誘致を決定していた日本は、この4年間で死に物狂いの努力をし、代表チームを強化してきたのです。生粋のラグビーファンでも、わかファンでも、もはや日本のラグビー熱は冷めやらないことでしょう。10月13日に行われたス

コットランド戦で勝利し、見事にベスト8進出を果たしました。ホスト国日本においては歴史上最悪の台風19号が襲う悲劇に対して、列島で起こっている災難に少しでも国民の皆さんに希望を持ってもらいたいと願って戦った選手たちの雄姿を心より称賛いたします。

日本のおもてなしが称賛される理由。それに応える世界と繋がるのがスポーツの魅力

どんなスポーツにおいても、共通するルール・スピリッツのもと、世界と繋がる要素があることは分かります。それ故に、スポーツは様々な感動を観ている人たちに与えてくれます。今回、ラグビーワールドカップのホスト国となった日本は、開催地や合宿地となった地域が諸外国チームを迎え入れ気持よくゲームをして貰うための様々な「おもてなし」の準備をして迎え入れました。そして、その想いが諸外国に伝わっていることが日本を誇る感動に繋がっています。

ウェールズ代表が事前キャンプを行った北九州市。公開練習に1万5300人が集まり、ウェールズ語によるウェールズの国歌斉唱でお出迎え、ウェールズ代表選手はホームにいるような気がしたと感謝しました。鹿児島市で事前キャンプを始めた南アフリカ代表チームには、休日に地元のお寿司店で、お寿司を握る体験をしてもらい、滞在中にリラクセスして貰いたいとの企画がなされました。そして、史上初3連覇を狙うニュージーランド代表が事前キャンプ地としていたのは千葉県柏市、歓迎セレモニーでは2400人が集ま

り、オールブラックスにちなんでブラックカーペットをひき、地元の子供たちが「ハカ」を披露。ニュージーランド代表主将は「海外でこんなに歓迎して貰えるなんてスペシャル。本当に素晴らしい」とコメントしていました。その他の各地域においても、地域ならではの「おもてなし」が準備され、各国代表選手の心に届いている話が後をたちません。これぞ、我が日本のあるべき姿でしょう。一方で、このようなホスト国日本に対して、多大なるお返しを頂いたことは語らずにはいられません。試合開催地であった釜石市は、台風の影響で開催予定の予選リーグ戦が中止になってしまったにも関わらず、ゲーム中止により予選敗退したカナダ代表チームは台風の被害に対して釜石市でボランティア活動をしてくれました。フランス代表チームは、日本の被災地に向け、日本語での応援メッセージを送ってくれました。何ということなのでしょう。今回のラグビーワールドカップが、開催国日本を元々多くの人の心をつなぐ機会となったことは間違いのないと思います。

そして語りたい、ラグビーというスポーツの魅力

スポーツにはそれぞれの魅力があります。ラグビーには、私たち企業経営者に大きく学ぶ要素があると思います。ゲームを構成する戦略は勿論なのですが「ワンフォーオール・オールフォーワン」というラグビーの精神は、「二人はみんなの為に、みんなは一つの為に」なのです。一つのことをやり遂げる為に「命をかけて戦う」これぞ、企業家の精神に通じることなのだと思います。

先